

審議会等議事概要

平成26年度 第1回滝川市保健医療福祉推進市民会議 議事概要

日 時	平成26年6月18日（水曜日）午後6時30分～午後7時30分
開催場所	滝川市役所8階 大会議室
出席者	男澤委員、椿坂委員、奥平委員、宮腰委員、佐々木委員、西原委員、岸部委員、泉田委員、谷委員（欠席：草薙委員、齊藤委員、片岡委員、細田委員） 事務局：佐々木保健福祉部長、國嶋同次長、松澤介護福祉課長、 長瀬健康づくり課長、渡辺主幹、柳主幹、織田主幹、谷本課長補佐、 相澤副所長、堀係長、菅野係長、鈴木係長、加地係長、運上係長、 須藤主査、伊藤主事
議 事	1 開 会 2 市長挨拶 ・今年度は、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、第4期滝川市障がい福祉計画、滝川市新型インフルエンザ等対策行動計画の策定があり、特に第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、大きく制度改正が行われる。各委員に対し、検討をよろしくお願いしたい旨の挨拶があった。 3 委員紹介 4 委員長及び副委員長の選出 ・市長が進行役となり、委員長及び副委員長の選出について意見を求め、委員より委員長に男澤委員、副委員長に椿坂委員の推薦があり了承を得た。 5 諮 問 ・市長より男澤委員長に第6期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画及び第4期滝川市障がい福祉計画の策定について諮問を行った。 6 委員長挨拶 ・男澤委員長より、会議を代表し市長より諮問受けたが、本日介護制度の改革に係る法律案が可決された。滝川の特性に合わせたいい計画を作っていきたいと考えている。各委員の協力をお願いしたい旨の挨拶があった。 ・委員長挨拶後、市長が他公務により退席した。 7 議 題 (1) 計画策定専門部会の設置について 事務局より別紙1のとおり市民会議の内部組織として計画策定専門部会を設置することを提案し、了承された。 (2) 介護保険の現況及び第6期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画の概要について 事務局より資料1に基づき説明を行った。 委員)急速な高齢化とともに、一方で20歳から39歳までの女性の人口の減少も

	言われている。終の棲家としていけるかが試される。 委員) 国の高齢者数の動向などは示されたが、今後の検討に合わせて滝川市の動向についても示されるのか。 事務局) 今回は第5期期間のデータを説明したが、今後の検討に合わせ必要なデータを随時お示ししたい。 委員) 特別養護老人ホームの入所基準が原則要介護3以上と示されているが、達していない要介護者への対策などが今後の検討事項になっていくと考えられる。介護保険の制度改正で市町村に格差が表れると言われている。知恵を出しあって、どこまでやっていけるか検討していかなければならない。 委員) 高齢化の状況は市町村によって異なり、きちっとその動きを踏まえて検討していくことが必要である。 委員) 高齢者を支える若い世代の人口増に向けての対策も一方で必要である。 事務局) 人口増対策までこの計画には位置づけられないが、滝川市の高齢化の進行も踏まえ、何が必要かということを検討していきたい。 (3) 「第4期滝川市障がい福祉計画(H27～H29)」の策定について 事務局より資料2に基づき説明を行った。 委員) これまでの実績の中で障がい児に関するサービスが含まれていたが、第4期計画に位置づけるのか。 事務局) 障害者自立支援法から児童福祉法に改正されたが、同じ障害福祉サービスの範囲であり、計画策定を行う地域自立支援ネットワーク会議の中で諮り検討したい。 (4) 滝川市新型インフルエンザ等対策行動計画(案)について 事務局より資料3及び資料3-2に基づき説明を行った。 委員) 行動計画はほぼ出来上がった形だが、今後どのように進むのか。 事務局) 行動計画に基づき、具体的な実施計画を作成していくことになる。 委員) 行動計画の内容については了解したが、今後実施段階で各論がどのように進むのか、その内容について期待したい。 (5) 市民会議の内容公開について 事務局より保健医療福祉推進市民会議の内容の公開について説明を行い、公開する議事録の確認者として椿坂副委員長を指名した。 8 その他 なし 9 閉 会
会議資料	資料 平成26年度第1回滝川市保健医療福祉推進市民会議議案